

○議長（小林哲雄）

皆さん、おはようございます。ただいまの出席議員は12名です。定足数に達しておりますので、これより平成25年第1回開成町議会定例会6月会議第2日目の会議を開きます。

なお、本日は日曜議会を開催しております。

早速、本日の日程に入ります。

午前 9時00分 開議

○議長（小林哲雄）

日程第1 一般質問を行います。

質問の順序は、先に抽せんを行いました順序で行いたいと思いますが、ご異議ございませんか。

（「異議なし」という者多数）

○議長（小林哲雄）

異議なしと認めます。

それでは一般質問を行います。持ち時間は1人30分、時間通告制で行います。なお、持ち時間より早く終了しても、お手元に配付してあります時間割り表どおり行います。また、質問、答弁は簡潔にお願いいたします。

それでは、始めます。

3番、吉田敏郎議員、どうぞ。

○3番（吉田敏郎）

皆さん、おはようございます。3番議員、吉田敏郎でございます。トップバッターということで、非常に緊張しております。三振を喫しないようにしたいと思います。

通告どおり、一つの項目に対して質問をさせていただきます。自転車運転の安全確保に関して町の対応策は、ということで、お伺いいたします。

自転車は、幼児から高齢者までの方が多く利用する乗り物でありまして、通勤、通学、買い物、近所への用事等、多岐にわたっております。日常生活における手軽な移動手段としては、なくてはならないものとなっております。また、排気ガスや騒音を出さない環境に優しい乗り物であり、健康増進にも効果があることから、自転車利用への関心が高まっております。震災による交通困難などを背景として、通勤手段として改めて注目されております。今後、さらに自転車利用が増加することが見込まれます。

近年、自転車での暴走や右側通行、運転しながらの携帯電話等の利用といった危険運転による自転車事故が問題となっております。町民の方からも、自転車についてマナーが悪い、交通違反やスピードの出し過ぎで安心して歩けない、何とかならないかという声をよく耳にします。自動車対自転車、自転車対自転車、自転車対歩行者、自転車の運転者は被害者になる場合と加害者になる場合がございます。自転車

による事故は深刻な事態になることが予想されます。避けるためには、交通ルールを守る、そのことをさらに進めることが必要であると思います。

次の四つのことについて、お伺いいたします。一つ目としまして、夜間の無灯火、右側運転による事故が多い、交通ルールの遵守、マナーの向上をさらに図ることは。二つ目として、自転車の安全向上、自転車の整備についての教育や広報などは。三つ目といたしまして、児童や幼児、高齢者を自転車から守る対策の強化は。四つ目としまして、道路整備など地域住民の声を町政に反映するため努力することは。

以上、よろしくお願ひいたします。

○議長（小林哲雄）

町長。

○町長（府川裕一）

吉田議員のご質問にお答えします。

吉田議員のおっしゃるとおり、地理的特性からも開成町における自転車の利用者は増えております。しかしながら、結果として、交通事故の総件数は減ったものの自転車に絡む事故比率が増え、残念ながら今年度、自転車事故多発地域に指定をされてしまいました。今までの交通安全教室や街頭指導などに加え新規事業にも取り組んではおりますが、交通ルールの遵守、マナーの向上をさらに図るための特効薬はないと考えております。地道に啓発活動や安全教室を続けていくことが重要だと考えております。

一つ目の質問、夜間無灯火、右側運転による事故が多い、交通ルールの遵守、マナーの向上をさらに図ることについてであります。今年度は新規に高齢者交通安全教室、通称チリリン・スクールと申しますが、これを5月30日に松田町と連携をして開催しました。5月31日には小学校4年生を対象とした自転車の運転免許講習を開催、6月から小学校6年生の「自転車の乗り方、神奈川県大会」に出場するチームのメンバーによる練習を開始し、8月から小学校5年生の選抜児童を対象に「自転車の乗り方、足柄上地区大会」に参加し、ルールとマナーの向上とともに技術力の向上を図ります。2月には開成幼稚園年長組を対象とした交通安全教室を開催、3月に保育所モナミを対象とした交通安全教室を開催するなど、さまざまな年代を対象に教室等を開催しております。それぞれのイベントで、自転車の左側通行の重要性、歩行者の右側歩行の重要性を周知し、交通ルールの遵守、マナーの向上を図っております。

二つ目の自転車の安全向上、自転車の整備についての教育や広報についてですが、自転車の安全向上については、チリリン・スクールや小学生を対象にした自転車の運転免許講習の中で指導をしております。特に、整備については、小学校4年生の授業で行う講習と5年生、6年生の選抜に指導をしております。自転車の点検の方法として、ブレーキ、タイヤ、ハンドル、車体、ベルの点検を行うことの合い言葉として「ブ・タ・ハ・シャ・ベル」と教えて、毎年指導を行っております。自転車の安全向上、自転車の整備については、広報啓発を実施しております。

次に、三つ目の質問、児童や幼児、高齢者を自転車から守る対策の強化についてありますが、やはり自転車に乗る人のマナー向上が最重要課題であると考えております。平成24年度中の自転車事故発生状況は、19件中8件は出会い頭の衝突事故となっているため、一時停止や徐行の意識が低いことがわかります。駅前や吉田島交差点など、交通量の多い場所での事故が多くなっております。原因としては、前後確認や右折時の歩行者、自転車有無の確認不足があります。

平成25年度の重点的な取り組みとして、高齢者が事故にかかわっているケースが多いことから、高齢者自転車の安全な乗り方教室「チリリン・スクール」を実施いたしました。交通指導隊と連携して、駅前や交差点での街頭指導を行います。夏の事故防止運動の一環として、水辺スポーツ公園で啓発キャンペーンを予定しております。南部地区土地区画事業において、緑道を歩行者専用道路として整備をしていきたいと思っております。また、酒匂川2号橋の開通に伴う対策として、開成南小学校の通学路の安全の再確認を行うとともに、交通指導隊と街頭指導を強化し、児童・生徒への交通安全教育の徹底を図るため、その教室の機会と回数を増やすなど対策強化に努めております。

最後に、4番目の道路整備など地域住民の声を町政に反映するため努力することについて、お答えします。町民の皆様の声である自治会要望でいただいた道路整備箇所は、要望箇所の状況や事業の必要性などを考慮し町全体の道路改良事業箇所としての優先度を定め、第五次総合計画実施計画に位置付けて計画的に改修をしていきます。歩道のない道路での歩行者の安全対策では、平成26年度から通学路を優先して路側線内側のカラー舗装を予定しております。自治会要望や町民から連絡をいただいた道路の陥没、破損は、現地を早急に確認し、周辺の交通環境に配慮して、できるだけ速やかに補修などの対応をしていきたいと考えております。

以上です。よろしく願いいたします。

○議長（小林哲雄）

吉田議員。

○3番（吉田敏郎）

ただいま町長から、いろいろ答弁をいただきました。再質問をさせていただきます。

いろいろ、このようにたくさんのご意見を新規にわたって計画をしているということで、非常に期待をするところでもありますけれども、今回、新しい取り組みとしまして「チリリン・スクール」を開催したということでございますけれども、先日、行ったばかりですけれども、こちらのほうの開成町としての参加人数、並びに、そのときに参加された方の感想等が、もうこの時点でわかっていることがあれば、お知らせを願いたいと思います。

○議長（小林哲雄）

危機管理担当課長。

○危機管理担当課長（遠藤孝一）

「チリリン・スクール」について、お答えいたします。

これは、松田町と初めて連携して行った事業でございますが、総勢40名の参加の中で開成町の参加者は19名ございました。当日、雨天のため屋外での実施ということはちょっとできなかったもので、座学が主な内容ございました。そんな中で、まずビデオを見ての講習ということで、神奈川県トラック協会から提供していただいたビデオを見て、それが、実際、トラックの運転手さんから見た目線で、どれだけ自転車が危ない行動をしているかとか、そういうものを見させていただいて、皆さんの感想としては、本当に自分たちが普段やっていることが、運転者目線から見ると、どれだけ迷惑な状態かというようなことを感じたというような感想をいただいております。また、当日は自動車連盟JAFの模擬体験の車を活用させていただいて、時速5キロで車同士が衝突した場合の疑似体験なども参加者が全て経験しております。その中で、この事業はかなり有効であるというふうにご意見をいただいたところです。

○議長（小林哲雄）

3番、吉田議員。

○3番（吉田敏郎）

「チリリン・スクール」のことに對しては、今、説明をいただきました。やるということは聞いてはありましたけれども、ちょっと内容についてお伺いいたしました。

次に、先ほど答えの中にありました、小学校4年生を対象にしまして自転車の運転免許証講習をやっているということで、免許証を配付していることは認識しておりますけれども、その中と同じように、この6月から6年生のチームによる練習の中とか、あと8月から5年生の選抜児童に対してルールとマナーの向上を図るということでもありますけれども、そういう全員ではなく選抜された子どもたちに対する認識を与えるということでもありますけれども、4年生に取得しました自転車の免許証というものを、例えば、5年生、6年生、中学生に進級した場合に、その時点で免許証の書きかえをするということで、そういうことで、また意識の向上を図るということに関しては、その点はいかがお考えでしょうか。

○議長（小林哲雄）

危機管理担当課長。

○危機管理担当課長（遠藤孝一）

通常の大人が持っている自動車の免許証のように切りかえをしたらいいのではないかとご提案だと賜ります。現在は4年生が全て平成19年度から受講するようになっていまして、今は、もう高校生、16歳ぐらいになっているという状況ですが、皆さん、小学校4年のときに自転車の免許証をもらって、小学校卒業まで有効という有効期限のものを手渡しております。これについて、意識啓発のために更新をするのはどうかということですが、これについては、今のところはちょっと考えていなかったのですけれども、内部で検討はさせていただきたいと思っております。

○議長（小林哲雄）

3番、吉田議員。

○3番（吉田敏郎）

3番、吉田です。

そういうことで、前向きに考えてくださるということで認識をいたしました。

次に、幼児、児童や高齢者の方たち、そういう人たちに対する安全教育には力を非常に入れていないというふうに感じました。そして、中学生、高校生については余り行われていないということと、成人については、ほとんどやっていないのかなというふうな感じを受けます。これから成人、特に若い人たちに対して、中学生以上、高齢者になる前の方たちに対して、どのような働きかけをしていくのかということも一つの懸案事項になると思うのですけれども、その点について何かお考えがあるかをお答え願いたいと思います。

○議長（小林哲雄）

危機管理担当課長。

○危機管理担当課長（遠藤孝一）

吉田議員のおっしゃるとおり、現在、開成町としては、子ども、小学生と老人に足しては具体的にそういうふうな講習をしていると。中学生や高校生、あるいは成人に対して手薄なのではないかというようなご意見をいただきました。まさに、そのとおりというのが現状でございます、いわゆる交通指導隊を活用して街頭指導とか、そういうことは行っています。5月の街頭キャンペーンも交差点を中心に行ったところですが、今年は水辺のスポーツ公園に出向いて行って、そういう啓発のキャンペーンをする予定でございます。確かに、中学生あるいは高校生という部分は、庁内の会議の中でも、特に高校生の通学時のモラルと申しますか、二人乗りであったり携帯電話をしながら通学しているというようなご意見も聞いておりますので、その点については対応しないといけないとは思っておりますが、具体的な指導方法というのは模索しているというような状況でございます。

○議長（小林哲雄）

3番、吉田議員。

○3番（吉田敏郎）

3番、吉田でございます。

これから、そういう方たちに対しても、また同じような形で前向きに考えてくれるということは理解いたしました。ぜひ、そういう形で、成人の方たちに対してもいろいろなことを周知するようなことで努力をお願いしたいと思います。

そういった中で、全国のほうではいろいろ、スケアードストレート講習を取り上げているところがあります。スケアードストレート講習というのは、スタントマンによる非常にリアルな交通事故の再現を取り入れた自転車交通安全教室ということで、交通安全意識の向上を図るとともに、そのときに自転車の交通ルールの遵守と正しい交通マナーを実践させることで交通事故の抑止にもなるということで、この

ようなことが行われておるところが多々あります。まず、スケアードストレート、  
こういう講習を取り入れてみたらどうかという提案ですけれども、その点について  
はいかがでしょうか。

○議長（小林哲雄）

町民サービス部長。

○町民サービス部長（山本 靖）

それでは、吉田議員の質問にお答えします。

スケアードストレートという講習ということで、スタントマンによる模擬体験と  
いうことはテレビで拝見したことはありますけれども、費用的には数十万かかるよ  
うな話は聞いていましたので、そういった形で講習ができるのであれば開成町でも  
やっていきたいなど。ただし、費用面もありますし、県警でも各地巡回している  
ということなのですが、なかなか、その番がいつ回ってくるかとか、そういった部分  
もありますので、町で予算をとるためには、やはり、それなりの、どこを対象にす  
るかという部分も考えなくてははいけませんので、その辺については提案というこ  
とで前向きに検討させていただければと思います。

○議長（小林哲雄）

3番、吉田議員。

○3番（吉田敏郎）

3番、吉田でございます。

そういう形で前向きに考えてくださるといいかと思えますけれども、  
中学生、高校生並びに成人の方たちに、そういう方たちに自転車に対する交通ル  
ールとマナーの遵守、そういうことに興味を持つというか、少しでも多くの人に知っ  
てもらい、参加をしてもらうためには、こういった興味を誘うようなことも考えて  
もいいのかなということで提案をさせていただきました。

次に、安全講習を、これからずっと25年度の重要課題の中でいろいろしていく  
ということを言っております。安全教室講習を受けた方に対して、また交通ル  
ールをマスターした人には、見てわかる自転車のマスターステッカー的なものを自転車  
にはるなどして、そういう人たちに、自分は交通ルールを遵守して非常に守ってい  
るという、そういうプライドを持って自転車に乗ってもらえるような方法を取り入  
れるということ、他の自治体のほうでそういうことを実施しているところもござい  
ます。自転車の後ろに、よく見かける、例えば、この辺ではどこどこ高校とかいろ  
いろ、そういうステッカーみたいなものはっておりますけれども、そういうとこ  
ろに、開成町独自の講習を受けて自分はこういうふうに通則を守る、そうい  
うステッカーをはっていただいて、そういう自転車でルールを守って町を自転車で  
移動すると、そういうことをしていくことに関してはいかがでしょうか。

○議長（小林哲雄）

危機管理担当課長。

○危機管理担当課長（遠藤孝一）

今のステッカーの提案でございますが、特に今まで町としては、そのようなことを計画はしてございません。内部で、そのような意見があったということで、交通指導隊あるいは警察の意見等を聞きながら、これが効果的なものかとかを検証していきながら、取り入れるかどうかというのは今後の検討課題とさせていただきたいと思っております。

○議長（小林哲雄）

3番、吉田議員。

○3番（吉田敏郎）

3番、吉田です。

時間がないということもありますけれども、いろいろ提案ばかりをしておりますけれども、やはり少しでもそういう形で。開成町は自転車を大いに宣伝している面もありますし、道の整備ができずに自転車がスムーズに走れるということもなかなかないですけれども、南部土地区画整理事業、あちらのほうですばらしい道路ができて歩道のところに自転車が通れるようなこともありますので、そういったことを順次、年月はかかるけれども、やっていってもらいたいと思っておりますけれども。現実として、今、こちらの中部、北部のほうに関しては非常に難しい面があるかとは思っておりますけれども、そういうことは前向きでもってやっていっていただきたいと思っております。

例えば、先ほども言いましたけれども、町民の方から言われた高校生の通学に関して、朝、どうしても並列進行して自転車を並進してまいりまして、また、そこに生徒も何列にもわたって歩いてくると。また、右側通行もして走ってくる。そういうことに関して、高校の先生も道に立ってはいけるけれども、なかなか、お聞きしますと、指導はしているふうには見えないということで、自分もちょっと何日か、こちらのほうに立ってみますと、やはり右側通行、スピードを出している等々、たくさんそういう感じが見られました。何人かの生徒に、そういうことに関してちょっと注意をいたしますと、「は一い、わかってまーす。気をつけまーす。」ということで、そうやって言うわけですけれども、そういうことに対して、やはり、町の中には一つの高校がありますけれども、高校生全般にわたることだと思っておりますけれども、県立高校だということで、なかなか、そういう面で、町として指導というか、そういうことで声かけができるということは難しいものなのではないでしょうか。ちょっとお聞きします。

○議長（小林哲雄）

危機管理担当課長。

○危機管理担当課長（遠藤孝一）

県立高校だから町としてはちょっと介入できないよということはないと思っております。現に防災の観点からも県立高校を防災拠点にさせていただいたり、お願い事はしているところなので、交通ルールについても、先ほども申し上げましたけれども、庁内の会議の中でかなり高校生が問題になるような自転車での通学をしているというよ

うなことも上がっていますので、地元の高校に関しては指導できるように学校長のほうにお願いというような形、あるいは校長に限らず先生方の前でそういうようなことが町の中で話題になっているというようなことで、指導隊を活用するなり地元の駐在さんを活用するなりして、できることがあれば、授業の中で取り入れられれば一番いいのですけれども、そのようなことを打診してみたいと思います。

○議長（小林哲雄）

3番、吉田議員。

○3番（吉田敏郎）

3番、吉田です。

そういうことで、ぜひ継続して指導をしていていただきたいと思います。

平成24年4月に警視庁が行ったアンケートの中に、神奈川県でも松田警察署でもお聞きしたことがありますのですけれども、16歳以上の1,000人を対象にした自転車利用者に対する意識調査で、自転車での車道の右側運転について、「よくある」、「時々ある」、自分がですね、が43.8%、年代では16歳から19歳が50%、職業別では高校生が50%という数字がございました。「交通ルールを守れないのはなぜか」の問いについては、「交通ルールや安全マナーをよく知らないから」との回答が最も多かったということです。次いで、「事故さえなければいい」、「急いでいるから」、「みんながしているから」などの回答が多くなっておりました。自転車における交通ルールに対する遵守意識が低いことがうかがえるのではないかと、そういう結果のアンケートでございます。

そこで、交通ルール、並びに自転車の中でも自転車は左側通行、歩行者は右側通行、そういった大まかなルールは、大体、皆さんというか、高校生も中学生もご存じだと思いますけれども、存じ上げていると思うけれども、もう少しきめ細かな、歩道を通るときの、例えば13歳以下70歳以上に対する人が通った場合にはどうしたらいいとか、非常に細かい面においてもルールということがございます。そういうことを皆さんに知ってもらうためにも、町として、こういうルールがあるよ、こういうときは、あなたはどうしていますかという、そういうアンケートがあるわけですけれども、そういうアンケートをとるといことはいかがかということで今、質問をしたいのですけれども。

時間のないところで、ちょっと説明が難しいのですけれども、例えば一つ。車道は左側を通行しなければならない、こういうことに関してもそうなのですけれども、歩道に関して、「ルールは知って守っている」ということと「ルールは知っているが守らないこともある」、「ルールを知っているが余り守らない」、「ルールは知らなかった」、「ルールは知っているが自転車には乗らない」、こういう五つの項目を20項目から30項目に関するいろいろなルール等に対してアンケートをとるといことが。こういうことによって、そういう交通ルールの遵守を認識していただくということが必要ではないかと思って、町のほうでも、こういうアンケートをとるといことに関してはいかがでしょうか。

○議長（小林哲雄）

町長。

○町長（府川裕一）

いろいろ、吉田議員には今回、自転車に関して、交通安全を含めて提案をいただき、本当にありがとうございます。今のアンケートの件を含めて全般的にちょっとお話をさせていただきたいのですけれども、開成町は地形的に平坦ということで、さらに健康にも環境にも優しい自転車は、これからも開成町にとって大事な重要な政策になってくると思います。先ほどの中で、低学年、小学生と高齢者に対しては町は結構いろいろな安全対策をしているのですけれども、その中間が抜けているということで、特に小学校の免許制度、今度は中学に変わったときに、それを、もう一度、学校の中学生には自転車の安全に対する意識高揚を進めていきたいし、さらに一つは高校生、この地域にある総合高校に対しては、町として開成町は自転車の町を売りにしていきたいので、そういう意味において、地元の高校には町としての姿勢を示して協力を求めていきたいと思っております。

さらに、自転車の道路の整備に関してはなかなか早急にできない問題ですので、都市計画道路のような大きなときには、きちんと自転車道の中に盛り込んで整備をしていきたいと思っておりますけれども、やはり地道に交通安全に対する意識を高めていく、今、吉田議員の言われたアンケートも含めて、いろいろなご提案をいただきましたので、できるだけ取り入れながら開成町の町民の皆さんの安全を図っていききたいと思っておりますので、今後とも、ぜひご協力をよろしく申し上げます。

○議長（小林哲雄）

3番、吉田議員。

○3番（吉田敏郎）

今、町長からも、そういう答弁をいただきました。ぜひ、前向きに考えていただきたいと思っております。

町の中でも、第九次開成町交通安全計画の中で自転車安全利用の推進としていろいろなことをして周知をしていくということも言うてございますので、ぜひ、そういうものの中で安全に自転車を運転できるように、やはり、いろいろな人にルール等を、もう一度、基本的なルールから。こういうこともあるのだよ、また、事故をしたら普通の交通違反と違って青切符ではなく赤切符を切られて罰金を取られるよ、そして前科者になってしまうよとか、そういうこともありますので。また、こういう事故を起こしたら、こんなにお金がかかるのだよということも、おどしではないのですけれども、そういうことも含めて、ぜひ、もう一度、原点に戻った自転車の運転の仕方の交通ルール遵守の周知を町のほうとしても大いにやっていただきたいと思ひまして、私の質問を終わります。